

ジブチ月例報告 (2023年4月)

在ジブチ日本国大使館

【内政】

● 4月9日、Ali Mohamed Dimbio 国家通信委員会（CNC）委員長はラドワン通信大臣に対して、2月24日に実施された国民議会選挙におけるジブチのメディアの活動に関する報告書を手交。同報告書では、ジブチ全土において、メディアが公平性と透明性をもって候補者について放送したと評価。

【外政】

● 4月6日、ゲレ大統領は Aden Farah エチオピア繁栄党副党首をヘッドとするエチオピア代表団の表敬を受け、ジブチ・ガラフィ・エチオピアを繋ぐ道路の修復プロセスの進捗確認といった二国間経済協力について協議。また、両国の税関における協力関係の強化やGREDを巡るエチオピア、スーダン、エジプトの係争に関するジブチによる仲裁の拡大について意見交換。

● 4月9日、ゲレ大統領は Abdikarim Houssein Gouled ソマリア大統領特別代表の表敬を受け、ソマリアとソマリランドとの間で新たに計画されている協議プロセスに関する意見交換を実施。

● 4月16日、外務・国際協力省はスーダン情勢に関するコミュニケを発出し、兄弟国であるスーダンの最近の動静を注視し、スーダン国軍と即応支援部隊との衝突によって発生したハルツームの現状に深い憂慮を表明。

● 4月16日、IGAD臨時サミットにおいて、ゲレ大統領はスーダンの動向、特に4月15日に発生した軍事衝突に大きな懸念を持って注視しており、IGAD代表団をハルツームに派遣するよう要請。

● 4月21日、ゲレ大統領はスナク英首相と首脳電話会談を実施し、二国間関係のさらなる発展について協議するとともに、スーダン情勢について意見交換。

● 4月22日、ゲレ大統領は両首脳間の定期的な意見交換の一環として、マクロン仏大統領と首脳電話会談を実施。二国間関係について協議するとともに、スーダン情勢について意見交換。

● 4月23日、サイド・ジブチ市長はフー・ビン駐ジブチ中国大使の表敬を受け、地方分権分野における協力及びジブチ市と中国の永州市との姉妹都市協定の制定について協議。

● 4月23日、スーダンにいる在外自国民のうち退避者の第一陣50名がジブチ空港に到着。22日には85名のスーダンの在外自国民が Issa Khaireh Robleh 駐スーダン・ジブチ大使とともにハルツームからエチオピア国境に退避した。

● 4月24日、ゲレ大統領はミシェル欧州理事会議長との電話会談を実施し、ジブチ・

EU との間の友好・協力関係のさらなる発展について協議するとともに、スーダン情勢について意見交換を実施。

● 4月30日、ゲレ大統領はトルドー・カナダ首相との電話会談を実施し、二国間関係のさらなる発展について意見交換するとともに、トルドー首相はスーダン危機に際してのジブチの支援に対して謝意を表明。

● 4月30日、ユスフ外務・国際協力大臣はスーダン退避プロセスに関するメディア・ブリーフィングを行い、スーダン情勢及び各国のスーダンからの退避に伴うジブチ政府の取組みを紹介。

【経済・開発】

● 4月3日、ヨニス・エネルギー大臣は、Mayen Wol Jong 南スーダン石油省次官をヘッドとする代表団の表敬を受け、炭化水素及び天然ガス分野における二国間協力の強化について協議。

● 4月3日、ハディ・ジブチ港湾・フリーゾーン庁長官は南スーダン石油省次官一行と会談を実施し、ジブチの港湾から南スーダンの油田への石油製品の開発に使用される機材の輸送方法について協議。

● 4月3日、ヨニス・エネルギー大臣は、Youssef Takki Chebini・CWP グループ副社長（欧州・中東・アフリカ事業開発担当）の表敬を受け、ジブチにおけるグリーン水素製造プロジェクトの実施するための条件整備に関する意見交換を実施。

● 4月16日、ジブチ国家気象局（ANM）と災害リスク管理行政事務局（Secrétariat Exécutif de Gestion des Risques des catastrophes: SEGRIC）との間で、パートナーシップ協定が締結。同協定は両機関が危険地域の住民に対する警報システム開発や洪水やサイクロンのリスクについて住民への啓発キャンペーンにおいて協力することを決定するもの。

● 4月17日、ドラレ多目的港（DMP）鉄道ターミナルは、WFPのエチオピア向け穀物、約3000キロトン（M/T）の輸送業務を開始。

● 4月20日、ヨニス・エネルギー大臣は新たに着任した Genk Uraz 駐ジブチ・トルコ大使の表敬を受け、エネルギー・鉱業分野における二国間協力関係のさらなる発展について協議。

● 4月24日、ヨニス・エネルギー大臣はオーストリアのビジネス代表団の表敬を受け、二国間のエネルギー分野における協力の可能性について協議。

【保健・衛生・社会】

● 4月3日、カシーム地方分権担当大臣及びタベス駐ジブチEU大使は、各州議会と仏の開発途上国や新興国の公共政策に係るプロジェクトを立案・実施する機関である Expertise France との間の2023年補助金契約の締結式に出席。同締結は、EUが財政支援し、Expertise France が実施する地方分権・地域イニシアティブ支援プログ

ラムの一環で実施されたもの。

● 4月4日、女性・家族省は、内務省及びジブチ婦人連合との共催で、ジェンダーに基づく暴力の防止に関する2日間のワークショップを開催。同ワークショップは、USAIDの財政協力による市民社会への支援プロジェクトの一環として実施されたもの。

● 4月10日、ゲレ大統領は世界保健デー記念式典に出席し、すべての人に健康を、という目標を達成するためのジブチの施策について言及。また、アフメッド保健大臣は、ジブチは新型コロナウイルスから「Free」であるとスピーチにて言及。

● 4月30日、バードン法務・刑務大臣は、ジブチ法務・刑務省とサウジアラビア企業との間で交わされた新たな最高司法裁判所の建設にかかるパートナーシップ契約の締結式に出席。同建設プロジェクトは、サウジアラビア開発基金の資金を受け、2年以内に完了予定。

【軍事・治安】

● 4月26日、ゲレ大統領はAUソマリア移行ミッション（ATMIS）貢献国首脳会議に出席するため、ウガンダを訪問。同首脳会議では、ATMIS部隊の段階的撤退を効率的に実施すること等について協議された。

● 4月30日、サイド内務大臣は治安と公衆衛生の観点から、不法入国者の取締りキャンペーンを実施する旨発表。同大臣は、インフォーマルな活動をしている外国人のうち非正規雇用者は雇用主の申告によって移民登録を提供する一方で、雇用のない外国人は直ちに自発的に出身国へ戻るよう呼びかけた。

【日本関係】

● 4月15日、沿岸警備隊と日本の海上保安庁は、2023年海賊移送シミュレーション訓練を共同で実施。活動に関するブリーフィング、海上保安庁が海賊を船から沿岸警備隊の巡視艇に移送し、陸上へ移動させる訓練が行われた。

● 4月24日、今般のスーダン情勢を受けて、スーダンからジブチへ航空自衛隊C-2輸送機にて退避邦人とその家族45名が退避。また、29日、退避邦人ら48名が日本に帰国。

（了）